

調査した川はどれも「快適な水環境」でした！

人吉市環境基本計画に基づく環境教育の一環として、市内小学校の児童たちが市内を流れる川の水生生物を調査しました。身近な川の水環境を学び、自然を大切にする子どもの育成が目的です。調査した5つの川は、それぞれ少しの差はありましたが、どれも「快適な水環境」ということが分かりました。市民の皆さんも身近な河川に関心を持ち、市民みんなできれいな自然環境を維持しましょう。

問合せ 市環境課環境衛生係 (☎22-2111 内線2075)

小学校	学年	調査した川	調査日
東間小	5	胸川	5月1日
西小	5	山田川	5月22日
中原小	5	万江川	5月23日
東小	6	胸川	5月25日
東小	5	胸川	5月26日
西瀬小	5	永野川	6月13日
大畑小	5	こさで川	6月16日



▲自然の中での課外授業



▲バケツと網を持って生物を採集



▲透視度計で水の透明度測定



▲水生生物の種類で水のきれいさを判定



◀川底や石の裏を調べて水生生物を探す

網に何かひっかかったよ！

川の水って冷たくて気持ちいい！



私たちの安心・安全を守る消防団

市では、消防団員として活動してくれる人を募集しています。興味がある人はぜひお問い合わせください。

消防団は、本業を持ちながらも「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活動する人たちが集まる、市町村の消防機関の一つです。



▶令和2年7月豪雨対応

消防団の活動

災害発生時は、地域住民の生命や財産を守るために活動しています。平常時にも、地域の消防力・防災力の向上に重要な役割を担っています。

火災や地震・風水害などの災害発生時

- 消火活動
- 救助、救出活動
- 警戒、避難誘導

平常時

- 訓練
- 住民への防火指導や広報活動

Interview 自分にできることをできる範囲で



しんむらまもる
新村 衛さん
(中林町・43歳)

第2方面隊
第3分団第1部に所属

大学卒業後、地元の人に誘われて入団し20年。入団後、一緒に地域を守る仲間や地域の人とのつながりができ、自分の住むまちがもっと好きになりました。

団員として心掛けていることは、体力維持と心構えです。火災や災害が起きたとき、すぐに出動できるように活動服を車の中に常備しています。

現在、どの部も団員不足ですが、それぞれに自分にできることを無理せずできる範囲で協力し合っています。全ての活動に参加できなくても大丈夫ですので、興味のある人は、地域を守る活動に力を貸してもらえると嬉しいです。

消防団活動に協力している事業所の皆さんへ

消防団員の7割以上がサラリーマンなどの被雇用者です。特に日中に発生する火災や災害対応などは、雇用主や事業所内の皆さんのご理解と協力体制が必要なことから、市では、消防団活動に積極的に協力している事業所などを「人吉市消防団協力事業所」として認定しています。

認定を受けると……

表示証を掲示したり自社ホームページなどに掲載したりすることで、事業所の社会貢献をPRできます。

これまで協力事業所として認定されていた事業所で、要件(消防団員数)を満たさなくなった事業所は、「準協力事業所」として引き続き協力いただきます。

認定基準例

- ・人吉市消防団員を含む3人以上の消防団員を雇用している事業所
- ・幼年消防クラブを設置し、防火意識啓発に積極的に取り組んでいる市内保育園
- ・消防団の団員確保に貢献している事業所

地域を守るためにも、ぜひ消防団協力事業所への申請をお願いします。要件など詳しくは市ホームページでご確認ください。



▲市ホームページ

問合せ 市防災課防災係 (☎22-2111 内線3241)